

東京片貝会報

発行 東京片貝会
埼玉県新座市栄1-5-5
(〒352-0014) 阿部修次
電話 0484-78-4494

第45回 東京片貝会総会御案内

期日 平成16年6月27日(日) 午後一時
会場 池袋 かんぽヘルスプラザ東京

薫風の候となり、皆様ますますご清勝のこととお慶び申し上げます。
第45回の総会を、左記の通り開催致します。郷里の皆様をお招きしまして楽しい一日にしたいと思います。

今回は、次期役員の仕事のご承認を頂く総会となります。
お友達を誘いあって、大勢の方のご参加を頂きますようご案内申し上げます。

記

- 一、日時 平成16年6月27日(日) 午後一時(正午より受付)
 - 一、会場 かんぽヘルスプラザ東京
東京都豊島区東池袋4-7-7 ☎03(5952)6881
 - 一、会費 七、〇〇〇円
- お願い 返信は6月15日(火)までに届くようお願い致します。

会の動き

次期理事選出会議 12/25
於：かんぽヘルスプラザ
佐藤祐一・藤塚悟両副会
長他五名出席

- ・会長 佐藤祐一
- ・事務局長 吉原 勉
- ・会計 諸我時夫

理事三名を選出、第45回
総会(六月二十七日)で
承認の上、決定の予定。
(一面参照下さい)

新春親睦ゴルフ会 1/24
(幹事 藤塚 悟)
於：穴戸ヒルズ
カントリークラブ
11名参加(片貝より2名)

新年祝賀会 1/25
於：かんぽヘルスプラザ
出席者75名
片貝から2名参加
(一面参照下さい)

親睦ゴルフ会 3/14

理事会 (幹事 阿部修次)
於：かんぽヘルスプラザ
12名参加(片貝より4名)

- ・阿部会長以下16名
 - ・新年会の報告
 - ・総会の話し合い
 - ・母校励ます会講師の件
- 次期理事への引継ぎの
話し合い

故佐藤量八さんの蔵書 遺族が故郷へ寄贈

東京片貝会の会長を務め、故郷にも貢献された佐藤量八さん(明治33年生)は、4年前に死亡、このほど武蔵野市の遺族から、百数十冊の蔵書が阿部会長を通して故郷の関係者に送られてきた。関係者はどこで保管するか、またどのように有効活用するかなどを話しあっている。

高田師範学校の先輩で、禅及び良寛研究家の浅田莊太郎さん(五之町昭和五十七年没)と若い時から親交があり、浅田さんが主宰して発行の「禅の友」に因り、「やせかまど」の解説を、浅田さんじきあと、有線放送のテープを基に、補完して「やせかまど(解説編)」にまとめ昭和六十一年、片貝町郷土史研究会から出版した。ダンボール7箱の百数十冊の書籍の検分が三月十三日JJA越後おちや片貝中央支店で開催された。書籍の大部分が良寛関係で、「やせかまど」の和綴本も含まれていた。

佐藤さんは、母校を励ます会」の発案者であり、教育講演会の推進者でもあった。初回からの、講演会テープを保管されており、これらのテープは、東京片貝会へ寄贈された。



東京片貝会 次期理事選出

次期理事は、理事選出会議で選出され、六月二十七日の総会で承認を得て決定されます。選出された理事は

会長 佐藤祐一(27年卒)
事務局長 吉原 勉(27年卒)
会計 諸我時夫(32年卒)

の方々です。また副会長他の役員は、総会承認後の新理事により選出決定されます。

会長に選出された、佐藤祐一氏は、本会に長く尽力され励ます会発起に携われ、励ます会初代会長、副会長などの要職を務められました。

略歴を紹介します。

- 生年月日 昭和14年7月23日(64歳) 若杉会
- 昭和30年 片貝中学校卒業
- 昭和33年 長岡高校卒業
- 昭和37年 東北大学理学部化学科卒業
- 昭和39年 東北大学理学部助手
- 昭和44年 東北大学 理学博士
- 昭和44年 (株)東芝 入社
- 昭和59年 東芝電池(株) 出向
- 昭和62年 神奈川大学工学部助教授
- 平成5年 神奈川大学工学部教授 現在に至る

小千谷市制記念式典 4/10
施行五十周年記念
阿部会長 出席

東京片貝会 会費
会費は、年二〇〇〇円とさせていただきます。
会報と同封されます郵便振込用紙、または新年会、総会で納入をお願い致します。
母校を励ます会のご支援は、三面をご参照下さい。

新春の笑顔で

新年会 開催

平成16年1月25日
かんぽヘルスプラザ東京

新年祝賀会は、会員73名、片貝から2名のご出席を頂き恒例となった「かんぽヘルスプラザ」で盛大に開催された。司会の大塚順一さんの、ご発声で新年の挨拶を交わし、黒崎副会長の開会の辞で始まった。

阿部会長は「予定した行事は滞りなく完了し、協力に感謝」



謝します。片貝小学校130周年記念行事では、寄付の依頼があり、20万円を励ます会から送付した。会長交代の選挙委員会が開かれた」などの挨拶があった。

母校を励ます会本田会長から「会員のご協力に感謝。小学生58名から、お礼の手紙がきている。前回の講演会では安達雪江さんが、シベリア鉄道で一ヶ月をかけて来日されたスウェーデンを紹介された。本年も予定しており、期待して頂きたい」と報告があった。続いて、藤塚副会長から、次期理事の選挙経過について説明がなされた。

来賓の名塚孝一(伝統芸能保存会)会長は挨拶の中で「今年雪が少ない。流雪溝が完備しどんな雪にでも対応可となったが、雪が降らない。保存会は、木遣り、シャギリ、ミコジサを対象として活動している。お祭りには、古式玉送り、皆さんに参加して頂き喜んで頂けるよう伝統を守っていききたい」と語られた。

懇親会は大塚国夫さんの司会で、還暦の花火(陽光会)のお礼があり、浅田鉄一さんの乾杯の音頭で開幕された。今回は、内藤富美子さんのお

父さんのマジックショーもあり、一段と盛り上がりがあった。恒例の「ああ上野駅」そして「木遣り」の大合唱、松下利夫さんの中締めの後、万歳三唱を19年卒の仲良し13名で元気よく行い藤塚副会長の閉会の辞で「六月の総会にもお元気で会いたい」と結びお開きとなった。

総会出席者氏名(敬称略)

〔昭和5、10〕山口ヨシ、浅田鉄一、〔昭和11、20〕黒崎音吉、佐藤ヨシ、太刀川善蔵、阿部源一、山田松次郎、大矢常吉、松下利夫、小嶋京子、深松サグ子、山口光雄、佐藤昭六、吉原俊六、小宮武夫、浅田栄三、石井ユリ、上田益美、小宮幸雄、中島ヨシ、西山和子、江澤キヨ、松上美津枝、気田登美

〔昭和21、30〕安達弘男、清水敏雄、神林勝夫、高野賢、安達和三、佐藤安次、横山信次、新野次朗、吉原三代治、阿部修次、黒崎正、豊島文枝、浅田義男、神林佳子、足尾良子、小宮とし江、大塚順一、長岡利夫、中村恵美子、新保ヨリ、小野塚茂、青木マツエ、横尾ミチエ、石上俊夫、石川春子、安藤真理子、佐藤祐一、吉原勉、黒崎勝、吉原宏、吉井均、木下伸、安達弘之、吉田正子、小野塚ミチ子

〔昭和31、33〕大塚国夫、黒瀬良子、小野塚清、藤塚慎、小宮善興、芝満男、諸我時夫、安達弘、吉原敬明、本田秀幸、芝頭、小野塚和夫、佐藤正志、内藤富美子

〔来賓出席者名(敬称略)〕名塚孝一、小野塚東、〔祝儀寄付金者名御礼(敬称略)〕中島ヨシ、松上美津枝、気田登美、新野次朗、阿部修次、黒崎正、大塚順一、中村恵美子、青木マツエ、芝満男、黒崎静、名塚孝一、小野塚東

会員短信

総会の御案内のお返事で、出席できない方々から沢山の御便りを頂きました。是非次回のご出席をお待ちしております。

石黒 ミス (大15卒)

いつもお世話有り難うございます。思いがけず今日この番組で片貝をみました。

山口 ヨシ (昭2卒)

風邪を引き残念ですが、欠席させて頂きました。

芋川 トシ (昭5卒)

ご盛会をお祈り致しております。

芝 三四司 (昭8卒)

会報有難く拝読致しました。手術後の体調不調のため欠席

関 牙子 (昭16卒)

会報有り難うございました。

大井 悦子 (昭21卒)

いつも会報有難うございます。良い年でありますよう。

相崎 トミ代 (昭21卒)

片貝まつりの節は、楽しい一時を有難うございました。

吉原 栄一 (昭22卒)

役員の皆様のご苦勞と、会報の片貝の今の情報に感謝申し上げます。

平石 和子 (昭31卒)

昨年末に母が亡くなりまして、今回は欠席させて頂きます。

寺侍 明美 (昭37卒)

いびつに開花した八重忠に個人的な家族や人々を支える

東京片貝会 会計報告書

自平成15年4月1日 至平成16年3月31日

| | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 前期ヨリ繰越 | 616,522 | 総会費 | 659,635 |
| 内訳 (定額貯金) | 290,000 | 新年会費 | 439,715 |
| (郵便貯金) | 284,473 | 役員会費 | 92,496 |
| (郵便振替) | 45 | 県人会費連費 | 30,000 |
| (現金) | 42,004 | 浅原神社奉納 | 10,000 |
| 年会費(246名) | 499,000 | 還暦・厄年・祝酒 | 16,400 |
| 総会費(70名) | 490,000 | 交際費 | 58,411 |
| 新年会費(73名) | 511,000 | 慶弔金・見舞金 | 11,335 |
| ご祝儀(20名) | 228,000 | 通信費 | 184,890 |
| 寄附金(34名) | 95,000 | 会報印刷費 | 243,600 |
| 郵便貯金受取利息 | 12 | 事務費 | 8,790 |
| | | 小千谷新聞購読料 | 11,616 |
| | 2,439,534 | 交通費 | 35,000 |
| | | 雑費 | 25,230 |
| | | 郵便振替手数料 | 15,450 |
| 収入合計 | 2,439,534 | 支出合計 | 1,842,568 |
| | | 後期へ繰越 | 596,966 |
| | | 内訳 (定額貯金) | 290,000 |
| | | (郵便貯金) | 269,485 |
| | | (郵便振替) | 182,595 |
| | | (現金) | 5,481 |
| | 2,439,534 | | 2,439,534 |

上記の通り報告致します。

平成16年3月31日

新野次朗
会 計
新野次朗

上記は適正であることを認めます。

吉原三徳
監 査
小宮善興

【住所表示・電話番号・変更】

| | | | | |
|-----|-------|-----------|----------------------|---------------|
| 昭23 | 浅田 敏雄 | 〒337-0053 | さいたま市見沼区大和田町1-951-5 | ☎048-686-2022 |
| | 金井 春江 | 〒330-0805 | さいたま市見沼区南中丸1111-18 | ☎048-684-9808 |
| 昭28 | 小川裕記子 | 〒330-0023 | さいたま市見沼区大和田町1-1593-3 | ☎048-686-1328 |
| 昭29 | 重原 紘一 | 〒336-0022 | さいたま市南区白幡3-1-7 | ☎048-863-2258 |
| 昭30 | 安達 弘之 | 〒338-0816 | さいたま市桜区塚本114-58 | ☎048-857-1895 |
| 昭31 | 後藤美恵子 | 〒331-0061 | さいたま市西区西遊馬1125-9 | ☎048-625-2038 |
| 昭32 | 加藤 素子 | 〒188-0004 | 西東京市西原町1-4-31 | |
| | | | 西原グリーンハイ22-501 | ☎0424-64-7167 |
| 昭37 | 浅田 俊夫 | 〒338-0831 | さいたま市桜区南元宿1-2-2 | ☎048-863-9237 |
| | 田川 鈴子 | 〒336-0002 | さいたま市浦和区北浦和5-12-5 | |
| | | | 北浦和第2住宅2-208 | ☎048-833-9437 |

「和」の表現に感動しました。今年には八重忠に乾杯!!。天野 八重子 (昭39卒) 会報ありがとうございました。楽しみにしています。

母校を励ます会・報告

温かいご支援ありがとうございます

母校を励ます会は、皆様の暖かいご支援を頂き、小、中学校への図書券の贈呈と同窓生による教育講演会の開催を行っています。

励ます会は、昭和58年母校に学ぶ児童、生徒を少しでも励まそうと考え出されました。当初は、さし当たり5年間を目標に発足しましたが、23年間の継続となつています。皆様の心のこもったご支援の賜です。ご寄付を頂いた方は、延べ二千百十六名金額で六百三十数万円となっています。(会計報告参照下さい)今後とも、暖かい母校への励ましを宜しくお願いします。

第22回 教育講演会

講師 (内定) お知らせ

講師 山口 正彦 氏

(つぐみ会 実家・の町山助) 演題

「私の歩んできた道 考えてきたこと」

現在の職業、業の話を紹介しながら節目節目に考えてきたことを話したい。

略歴

- 昭和45年 片貝中学校卒業
- 昭和48年 長岡高校卒業
- 昭和53年 明治薬科大学卒業
- 昭和53年 エーザイ(株) 入社
- 平成9年 エルメッドエーザイ 出向現在に至る

| | | | |
|----------------|-----------|----------------|-----------|
| 前年度繰越 | 1,076,403 | 総収入金 | 443,220 |
| 内訳 | | 寄付 図書費 | 200,000 |
| (定額貯蓄) | 780,000 | 小学校130周年記念 | 200,000 |
| (振替貯蓄) | 296,403 | 振込料 | 840 |
| | | 事務費 印刷費 | 840 |
| 基金協力 (136名) | 267,000 | 雑費 | 20,000 |
| 定額貯蓄取り出し受取金 | 14,206 | 経費代、懇親会 | 19,000 |
| 振替貯蓄取り出し | 260,000 | 交通費 | 20,000 |
| 受取利息 | 14 | 通信費 | 320 |
| 会費 (付具金) | 1,680 | 信受金 | 1,680 |
| 定額貯蓄取り出し | 200,000 | 雑費 | 520 |
| 収入合計 | 1,819,303 | 支出合計 | 908,420 |
| | | 前年度繰越 | 49,260 |
| | | 振替貯蓄 | 281,623 |
| | | 定額貯蓄 | 580,000 |
| | 1,819,303 | | 1,819,303 |
| 基金協力 (延2,776名) | 6,029,700 | 寄付金 (21回) | 4,600,000 |
| 寄付 | 35,000 | 振替金 (小学校130周年) | 200,000 |
| 受取利息 | 277,448 | 振込金 (20回) | 280,000 |
| | | 会費補助 | 35,000 |
| | | 印刷・郵券 | 82,684 |
| | | 交通費 | 170,000 |
| | | 事務費 | 6,038 |
| | | 懇親会 | 70,000 |
| | | 雑費 | 623 |
| 収入合計 | 6,342,148 | 支出合計 | 5,444,365 |
| | | 前年度繰越 | 897,782 |

浅原神社エッチング画

原価で頒布

会報に載せた浅原神社のイラスト画を、エッチング画として作成しました。B4版とB5版の2種類があり、価格は現在のところ、万円で四千円の予定です。(送料込)ご希望の方は、左記へ連絡願います。



〒124-0012 葛飾区立石8-54-7 藤塚 悟 ☎03-5670-4085

懐かしいお話です

片貝の伝説 (抄録)

て地蔵様を建て供養した。

・町の引越

町は昔、田の火葬場の付近にあったが、病気が流行り病人の居ない家は九軒しかなくだんだん西の方へ移った。

・盾観音の慈悲

片貝にお城があった頃、殿様片貝式部は盾観音を再建した。その後、川中島の戦きに出ても、盗賊が押し入っても危機は救われ、観音の慈悲と喜んだ。

・焼山(複数あり)

大屋敷の付近に、立派な城下町があったが、戦争で一夜のうちに焼野原になった。



冬より 登満可勢也

・酒屋と運河

片貝には、沢山の酒屋があり、佐藤家を中心になり「片貝酒」を、船で運び出すために沼田前に運河が作られた。

十二様の杉に縄が張ってありその縄で船を川上へ運んだ。

・浅原神社(複数あり)

吉原という人が、川の中から光る物を拾い神棚に置いた。吉原家と浅田家の間の森にお化けがあり、ある時血を流して死んでいた。その血を辿ったら、神棚の所へ続いており有り難くお祭りを行った。

・鳥森の地蔵

昔、沢山の乞食が片貝にやってきて、佐藤さんから食べ物を持って来た。ある時、病気が流行り、五十人位が死んでしまい、鳥森の墓場に埋め

- ・栗守酒 天明の飢餓の頃、井丹屋(佐藤家)へ、病の旅の僧が立ち寄り、全快のお札に栗守酒の醸造法を教えた。
- ・池津の観音 池津の権兵衛が、傷ついた白い蛇(信濃川の龍神)を助けた。沼のほとりで、名を呼ばれ、二股の蓮の下を探ったら観音像が現れた。
- ・かまきり坂 人を殺すほどの大カマキリが居たが大雪で亡くなった。この坂で転ぶと傷口が鎌の形に切れた。
- ・乳母の仇討ち(忠孝乳母) 太刀川という男が殺され乳母が遺児を背負い仇を探すと子供が泣き、西へ行くと黙り犯人の家を突きとめた。
- ・片貝の九名九軒 昔、九名九軒と言う家があり、佐藤、吉原、大塚、安達、浅田、太刀川、吉井、黒崎、小宮、(藤塚)であった。
- ・才七公園 昔大きな池があり、大蛇が住んでいた。毎年暴れるので殺したら「大水」が出た。大蛇が死んでいた所を「へびくずれ」と言う。

- ・太刀川地蔵 片貝に太刀川と八兵衛と言う飛脚がいた。太刀川は正直者、八兵衛はバクチ好き、八兵衛はついに太刀川を襲うが太刀川は村人に話しをし息を引き取った。(小栗田原)
- ・八島と安達 平家が負けて、奥州の安達ヶ原に隠れ、次に片貝の八島へきた。子供が「やしまへ、やしまへ」と言うので、この地を八島だとし、名字を以前住んだ地名から安達とした。
- ・源次郎川 川上に源次郎と言う桶屋があり、大変上手で、代々この川端で桶屋を営んでいた。この川を源次郎川と呼んだ。
- ・八島の神様 昔七つのお宮があったが火災にあった。その後安達七左衛門と言う人が、馬で「かや」を運んでいた時、馬が動かなくなり、調べると白蛇がいたので、お宮を建て祭った。
- ・鳥森の地蔵 昔、沢山の乞食が片貝にやってきて、佐藤さんから食べ物を持って来た。ある時、病気が流行り、五十人位が死んでしまい、鳥森の墓場に埋め

(編集 小宮)

ふるさと・は・今

H 15年12月から
H 16年5月まで

母校近況

■小学校

鼓笛隊引継ぎ式

2月19日、6年生から4・5年生で組織された新鼓笛隊へ引継ぎが行われた。

レパートリーには、「校歌」の他、シャギリでお馴染みの「さかのぼり」もある。

新一年生も楽しく

よみきかせの会

片貝よみきかせの会は春のお楽しみ会を3月6日開催新一年生も11名参加、自己紹介を行い、先輩の子供達と一緒に楽しい一時を過ごした。

白鳩日曜学校健在

四之町の正順寺を活動拠点とする白鳩日曜学校：懐かしいですね：と同OB会は、3/28小学生約10名と、手作り凧で凧上げを楽しんだ。現在、同学校は小学生15名、OB会50名で活動中。

元気に一年生入学

小学校の入学式は、4月6日に行われ、男子29名、女子17名の計46名が一年生となった。ちなみに、小学校の全児童数は258名である。

また市内の小学校新一年生は405名で、全員に(株)損害保険ジャパンから保険付きの黄色いワッペンがプレゼントされた。

■中学校

二市三郡親善バレーボール

片中完全優勝

第12回二市三郡沼郡中学校親善バレーボール大会が3月7日、片貝中学校で行われ片貝中が優勝した。一回戦から決勝戦まで四試合をセットカウント2-0で勝つ強さで他を完全に圧倒した。

市民卓球大会 片中女子活躍

市民卓球大会が3月7日、総合体育館で開催され、中学女子の部で、シングルスで優勝と三位、団体戦で三位と活躍した。

片貝中同窓会入会式

同窓会の入会式が3月2日開催され、新会員は56名(男子22名、女子34名)で会名は「希風会」と名付けられた。同窓会の説明、励ましの言葉、入会の言葉のあと、木造りの指導を受け、晴れて会員となった。

校長先生異動

山田俊彦校長先生は、三条市第一中へ、後任には村松町山王中学校教頭から昇任された渡辺清滋校長先生の移動があった。新校長は「伝統と活気ある片貝中に赴任し、誠に光栄です。」と挨拶された。(協議会)

町の10大ニュース

片貝駐在所新しく

片貝駐在所がこのほど完成し、12/6竣工を祝う会が開催された。一階が事務室と車庫、二階が住宅。工事費約二千五百万円。地域の安全、安心のよりどころとなる。



町の10大ニュース

「こころ」舞台がトップ

J A 越後おぢや片貝中央支店は、町民からのアンケートにより、平成15年の10大ニュースを発表。第一位は「NHK朝の連続ドラマこころの舞台となり、片貝まつり盛大に行われる」に決まった。

二位は「J A 越後おぢや誕生」三位は「市議会議員選挙で、地元3氏が上位当選。そして吉原議長誕生」

二年語り 浅原神社市内一

浅原神社では、除夜の鐘の代わりに今年も108発の花火を打ち上げる企画が人気を集め、市内一番の三千五百名の人出があった。用意した縁起物の破魔矢三百個は一日で完売となったが、賽銭は伸びなかったとのこと。

水沢緑公園化へ着々

五之町から越路原方向に約600メートル入った水沢(みつそう)と呼ばれる一帯を整備し、豊かな自然を守ろうとユニークな活動を推進する緑公園水沢は、このほど発足十周年記念誌「水沢」を発刊した。

徐々に整備され、探鳥会、ホテル鑑賞会、きのこ鑑定会などが行われ、現在会員は各分野から80名を超える。

市内最大 片貝塞の神

「塞の神」行事は11日昼夜浅原神社境内に市内最大を自認する塞の神をメインに多様な催しが展開された。夜の部は、参道の六白本のローソク、木造り、約一万个の福もちまき、成人の小塞の神点火、そして仕掛け花火と同時に大塞の神に点火。豪快な火柱、炎がおさまった火でイカや餅を焼き、無病息災を祈願した。



42歳厄年の恒友会 福もちまき

片貝スポセン今年も大人気

片貝スポセン今年も大人気。片貝中学校のかつての体育館。平成11年床を撤去、砂を入れ

人工芝にしたところ、冬季間の利用頻度が俄然高くなった。

今年も三月まで予約で埋まった。長岡のテニス関係の利用客が多いと関係者の話。

片貝レディスチーム頑張るユニバーサルホッケー 全国大会準優勝 創立二十周年記念・第一回ユニバーサルホッケー「レディス」親善全国大会が215群馬県新田町で行われ、片貝ユニースホッケークラブが準優勝した。昨年11月には県大会シニアの部で優勝しており、「全国制覇も夢じゃない」といき盛ん、頑張っています。



市老連片貝地区活動再開

市老人クラブ連合会片貝地区の婦人部は永らく休止状態にあったが、今年から積極的な活動を展開することになっている。片貝地区には13の老人クラブがあるが、数名ずつ参加し、老人ホームへの慰問ボランティア活動などを展開する計画である。

J A片貝中央

ゲートボール大会

第19回J A片貝中央支店杯争奪ゲートボール大会が、北魚沼湯之谷村のホテルゆのたに荘で開催された。八チームが二日間にわたり総あたり戦を展開、寺町やヨイ会が優勝した。

友田さんJ A越後

おぢや組合長に就任 東京片貝会が大変お世話になつている、J A 越後おぢや副組合長の友田明石さんが、この度、組合長に就任されました。

ますますの御活躍を祈念いたします。

片貝総合センター今夏完成

総合センターは、地域活動支援、支所、公民館、地域福祉推進機能などを備えた複合施設で、十四年度から建設されてきたが、今夏完成する。鉄骨造二階建てで、支所機能は地元委託される。待望の落成式は、8月26日予定である。

あとがき

今回は、片貝の伝説を調べ抄録しましたが、紙面の都合で全てを載せられませんが、ご存知の話がありましたら連絡下さい。

(小宮善興)